

(様式-1)

ICTアドバイザー活動報告書

1	実施日時	令和 8年 3月 5日(木) 13:30~15:00時	
2	アドバイザー企業・団体名	株式会社金本組	
3	依頼者	国土交通省宮崎河川国道事務所	
4	実施場所	宮崎県宮崎市大工町2丁目39	
5	対象人数	12名	
6	区分	技術支援	<input type="checkbox"/> -I 3次元計測関係 <input type="checkbox"/> -II 3次元設計データ作成関係 <input type="checkbox"/> -III ICT建設機械による施工関係 <input type="checkbox"/> -IV 3次元施工管理関係 <input type="checkbox"/> -V 総合マネジメント
		講師	<input checked="" type="checkbox"/> -VI ICT施工の研修・講習会
7	実施内容	<p>国土交通省が推し進めるi-constructionも10年目を迎え、次なるステップであるi-construction2.0は令和6年よりスタートしている。 そのi-con2.0施策の3つの柱である施工のオートメーション化(自動施工及び遠隔操作)とデータ連携のオートメーション化(IFCによるデータ連携)の2本の柱について、実例を紹介し講演を行った。</p> <p>1. 講師:【金本組 河野義博・内野智仁】 2. 講演内容 13時30分~ 金本組会社紹介 ……5分 13時35分~ i-construction2.0現場実例紹介 ……30分 14時05分~ 金本組のIFC活動紹介 ……30分 14時35分~ 質疑応答</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"><div style="width: 45%;"><p>プロジェクト概要</p><ul style="list-style-type: none">油圧ショベルによる土砂中継作業に着目部分的な自動化 (オートマッチング機能の導入)※画像中央の黄色の重機がオートマッチング機です<p>【目的】</p><ul style="list-style-type: none">中継作業実践活用での効果を肌で感じる省人化の効果検証遠隔操作機としての災害時対応性 ライトな装備</div><div style="width: 45%; text-align: right;"><p>ChatGPT 脳内イメージをチャットPeeで画像化 自動油圧ショベルによる土砂中継作業</p></div></div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"><div style="width: 45%;"><p>大規模災害が発生した際の対応強化 距離を制限しない遠隔操作</p><p>通信環境 基本的にスターリンクを想定</p><p>遠隔操作想定 家賃市田野町の金本組オフィス 南九州各地で大規模災害が発生した際の対応を想定。</p><p>(想定例)新燃成噴火発生時 南海トラフ巨大地震 大型台風災害</p><p>遠隔距離 約 12 km 映像遅延 約 0.5 秒 重機 CAT320 0.7m級油圧ショベル</p></div><div style="width: 45%; text-align: right;"><p>12 km</p><p>遠隔操作装置</p></div></div>	